

「主体的な学びへの転換を目指して!!」

令和4・5年度 益城中学校区「学力向上」研究発表会

主体的な学びへの5提案

- 1 目標のイメージ化 & 行動目標の設定
- 2 自分の考えを自分の言葉で分かり易く伝える
- 3 読む発表から伝える発表へ
- 4 セルフワーク(個人練習)の設定
- 5 チャレンジタイムの設定



究極の学習過程

- 1 行動目標のイメージ化 & 明確化
- 2 活動の明確な説明や指示
- 3 自力解決の充実
- 4 共同解決の充実
- 5 チャレンジタイムの設定

自分の考えを 自分の言葉で
分かりやすく表現できる 児童生徒の育成!



行動目標の明確化



今日の行動目標は〇〇だ!

「何ができるようになればいいか？」
具体的な行動目標を設定する

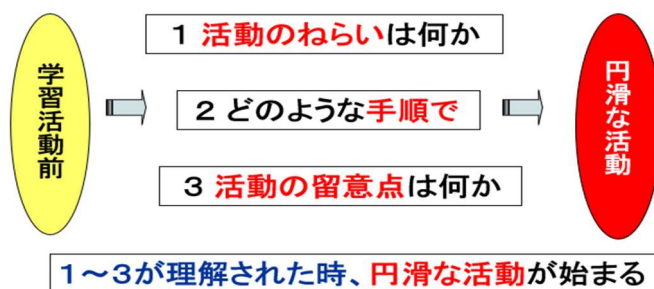
行動目標のキーワード化



学習のK.W.は〇〇だ!

目標のキーワードを設定する

活動の明確な説明や指示



自力解決の習慣育成



自分の考えを

自分の言葉で

分かりやすく伝える

自己表現力を育てること!



サンの学習指導過程

《自分の考えを 自分の言葉で わかりやすく伝える!》

- 1 導入で「本時で何ができるようになればよいか」を明確に伝え、板書する。
- 2 学習活動では、①活動のねらい ②手順 ③留意点をきちんと理解させる。
- 3 発問後、自力解決の場を必ず設定して、自分の考えを自分の考えでまとめさせる。
- 4 共同解決の場を設け、本時の目標に向かって学び合い高め合う授業を展開する。
- 5 チャレンジタイム等を設定して、本時の目標に対する評価を具体的に実施する。

発問後の対応が鍵！

(発問後に)



1 **すぐにあてない**

2 **考えをまとめる**時間を与える

3 **分かりやすい発表**を工夫させる

考えを持ち、伝えようとする姿勢を大切に！

セルフトークの実践



キーワードを使って話す！



意見の根拠を明らかにして話す！

資料等を使って分かり易く話す！

相手を意識して話す(アイコンタクト)！

自分の考えを**自分の言葉**で**分かりやすく**伝える

伝えることを意識した発表を！

図・グラフ・表・絵・実物等の活用



資料やキーワードを使いながら、**自分の言葉**で伝える！

具体的な情報を活用した発表を！

発表時の対応が鍵

(発表の際)

1 **単発**で終わらせない

2 教師が**代弁**しない

3 **書いた文を読む発表**にしない

4 **発表**を生かした**展開**にする

学習目標達成に向け、高め合う場に！

学び合い 高め合う発問



どうしてそう思ったの？

みなさんはどう思いますか？

自分と他の意見を比較して「なるほどそうか」「ああやればいいんだ」という発見のある場に

チャレンジタイムの設定

それぞれが学んだことを生かし、課題等に**挑戦**する場の設定！



できるようになったか
問題に挑戦してみよう！

挑戦が大好きな児童生徒の育成！

サンタの学習

授業実践上のポイント10

- 1 **本時の目標**：「～ができる。」学習が、具体的に評価できる「行動目標」を設定する。
- 2 **導入**：「日常生活」に関連させ、「何ができるようになればよいか」を理解させる。
- 3 **学習活動**：「活動のねらい・活動の手順・活動上の留意点」を明確に伝える。
- 4 **思考力・判断力**：課題解決に向け、情報を収集・活用し、「自分の考え」を持たせる。
- 5 **表現力**：「自分の考え」を「自分の言葉」で、資料やKW を使ってまとめる力を育む。
- 6 **セルフトーク**：相手意識を持ち、「分かり易く」伝える為の「実践練習」をさせる。
- 7 **発表**：「KW や資料等」を活用して、読む発表から伝える発表への転換を図る。
- 8 **練り上げ**：個々の考えを「本時の目標」に向かって、学び合い高め合わせる。
- 9 **チャレンジタイム**：「本時の学習が身に付いたか」練習問題等に楽しく「挑戦」させる。
- 10 **まとめ**：「キーワード」等を活用して、本時の目標に沿った「まとめ」をする。